

評価基準（タレントマネジメントシステム導入業務委託）

採点者	評価項目			主な評価の視点	配点		
					1次審査	2次審査	合計
事務局	組織	1	履行実績	・ 過去5年間の同種業務の自治体への導入実績1件につき、職員数の規模に応じて次のとおり加点する。 100人以上500人未満…………… 19点 500人以上1,000人未満…………… 22点 1,000人以上3,000人未満…………… 28点 3,000人以上…………… 37点 ※履行実績1件ごとに点数を加点していき、その合計点により得点を算出する。 なお、110点を上限とする。	110	-	110
		機能要件	2	機能要件	・ 別紙「機能要件一覧表(対応確認書)」の回答に応じて次のとおり加点する。(全110機能) ※必須要件は「◎/○」であること ※稼働予定時期がR8年4月の機能は予算額以下で対応可能であること ◎(標準機能)…3点 ○(カスタマイズにより可/代替案により可)…2点 △(一部可)…1点 ×(不可)…0点	330	-
	参考見積	3	R7年度見積額	・ 提出された「経費総括表」の金額を基に、次の計算式により算出し、小数点第2位以下を切り捨てるものとする。なお、27.5点を上限とする。 価格点={ 1 - (提案価格－②)／③ }× 13.5 + 14 上限額:予算額 = 29,866,000円…① 下限額:予算額の2/3相当額 = 19,911,000円…② 上限額と下限額の差(円)①-② = 9,955,000円…③	27.5	-	27.5
		4	R8年度以降見積額	・ システム利用/運用保守に係るランニングコストのみ(機能拡充に伴う支援を除く) ・ 提出された「経費総括表」の金額を基に、次の計算式により算出し、小数点第2位以下を切り捨てるものとする。なお、27.5点を上限とし、1点を下限とする。 価格点={ 1 - (提案価格－②)／③ }× 13.5 + 14 上限額:予算想定額 = 19,935,000円…① 下限額:予算想定額の2/3相当額 = 13,290,000円…② 上限額と下限額の差(円)①-② = 6,645,000円…③	27.5	-	27.5
委員	提案内容	5	実施体制	☐ 業務に応じた担当者の配置や構成が明確か ☐ 迅速・柔軟に対応できる体制か ☐ 業務責任者の実績は十分か	27.5	27.5	55
		6	実施方針等	【理解度】 ☐ 本業務の背景や目的、内容を十分に理解したビジョンとなっているか ☐ 目的達成につながるか 【計画性】 ☐ スケジュールは明確になっているか ☐ 手順・業務量は妥当か ☐ 随時見直すなど柔軟に対応できるか	55	55	110
		7	システム	※仕様書・機能要件を満たしたうえでの評価 ☐ システム導入により人事業務の高度化・効率化が期待できるか ☐ 職員が使いやすいレイアウト、デザイン、操作性となっているか	110	110	220
		8	導入支援	☐ 支援内容は十分か(導入後の運用方法に関する検討支援も含む) ☐ 導入業務における職員の負担が軽減されるか ☐ 支援により人事業務の高度化・効率化が期待できるか	55	55	110
		9	その他	☐ 仕様がない有益な独自提案がなされたか	55	55	110
	合計				797.5	302.5	1,100

※申込者が5者を超えるときは、提案書の書面により一次審査を行い、合計点上位5者に対し、ヒアリング(2次審査)の実施を依頼する。
ただし、1次審査を行わない場合(申込者が6者を下回る場合)には、ヒアリングで合計点(1,100点)を配点する。
評価による合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。
合計点数の最も高い者が複数あるとき(同点のとき)は、そのうち評価項目2、5～9の合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。
さらに、その複数者の特定審査委員の評価項目の合計点が同点となった場合は、参考見積金額(評価項目3・4合計金額)が最も低い者を、さらに、その複数者の参考見積金額が同額であった場合は、別途日程を定め、くじ引きにより受託候補者を特定する。

- なお、下記のいずれかに該当する場合は、不合格とし特定しない。
- ① 令和7年度見積額が、予算額を超える場合
 - ② 審査委員全員が0点とする提案内容がある場合
 - ③ 審査委員ごとの合計点について、審査委員全員が満点の2分の1を下回る場合
 - ④ 「機能要件一覧表(対応確認書)」の「必須要件」に係る「対応」欄が「△」または「×」の場合